

事務事業名	予防接種事業(定期接種)				担当	健康福祉部 健康増進課 健康支援係			
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり				増補版施策名			
施策名	6	健康づくりの推進				☐ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	☐ 単年度のみ			
法令根拠	予防接種法					☒ 単年度繰返（開始年度 昭和23 年度～）			
予算科目	1. 一般会計 4. 衛生費 1. 保健衛生費 2. 予防費					☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	予防接種法第5条第1項の規定に基づき、受託医療機関において、個別に予防接種を実施する。 【A類疾病】個人の発病を予防するとともに、集団でのまん延を防止するため、努力義務、積極的勧奨の義務を負うもの（四種混合、三種混合、二種混合、麻しん風しん混合、麻しん、風しん、日本脳炎、BCG、不活化ポリオ、子宮頸がん、Hib、小児用肺炎球菌、水痘、B型肝炎、風しん（第5期：H31.21～R4.3.31までの時限措置） 【B類疾病】個人の発病、重症化を予防する目的とし、努力義務はあるが、積極的な勧奨義務は負わないもの（高齢者用インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌） 子宮頸がんについては、平成25年6月14日以降、国の方針により積極的な勧奨は中止している。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
31年度実績 乳幼児については、出生時に保護者に定期予防接種予診票綴を渡して指導 。乳幼児健診時に保健師が接種履歴を確認しながら、適切な指導を実施。 日本脳炎、麻しん風しん2期、二種混合、風しん第5期対象者には、個 別に勧奨通知を送付。また、ホームページにも掲載し周知した。 高齢者については、ホームページ、市広報紙で周知。 受託医療機関で接種後、医療機関からの実施報告に基づき、委託料を支払 い、予防接種台帳に接種履歴の入力を行った。 モバイルによる予防接種スケジュール管理サービスを実施した。	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
2年度計画 平成31年度と同様。 R2.10.1よりロタの定期接種化。経口生ワクチン・不活化ワクチンで 接種間隔の制限撤廃。	ア 麻しん風しん（MR）1期 接種者数	人	644	649	616	608	522
	イ 麻しん風しん（MR）2期 接種者数	人	629	710	694	639	662
	ウ 高齢者用インフルエンザ 接種者数	人	12,024	11,941	12,614	13295	13546
	エ モバイルサービス登録者数（0歳児）	人	239	206	223	214	214
	オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
【乳幼児等】0歳から20歳未満の者 【高齢者】 ・インフルエンザ・・・65歳以上の方と60歳以上65 歳未満で心臓腎臓等に疾患のある者（障害1級程度） ・肺炎球菌・・・65歳から5歳刻みの年齢の未接種者と6 0歳以上65歳未満で心臓腎臓等に疾患のある者（障害1級程度）	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 予防接種を受けることにより、個人の発病又は重症化を予防するとともに 感染症のまん延を防止する。	ア 麻しん風しん（MR）1期 対象者数	人	733	645	638	632	543
	イ 麻しん風しん（MR）2期 対象者数	人	709	750	749	696	722
	ウ 高齢者用インフルエンザ 対象者数	人	19,578	19,827	20,412	20935	21333
	エ モバイルサービス対象者数（0歳児）	人	663	620	620	611	611
	オ						
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 感染症の発生予防、まん延防止を図り、健康な状態で暮らしてもらう。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア 麻しん風しん（MR）1期 接種率	%	87.9	100.6	96.6	96.2	96.2
	イ 麻しん風しん（MR）2期 接種率	%	88.7	94.7	92.7	91.8	91.8
	ウ 高齢者用インフルエンザ 接種率	%	61.4	60.2	61.8	63.5	63.5
	エ モバイルサービス普及率（0歳児）	%	36.0	33.2	35.9	35.0	35.0
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 感染症の発生予防、まん延防止を図り、健康な状態で暮らしてもらう。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア 健康で元気に暮らしている人の割合	%	83.9	82.9	82.8		
	イ						
	ウ						
	エ						

(2) 総事業費の推移				単位	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	223,998	224,634	228,696	218,634	293,297
			事業費計 (A)	千円	223,998	224,634	228,696	218,634	293,297
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
		人件費計 (B)	千円	8,306	8,300	8,338	8,086	8,086	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	232,304	232,934	237,034	226,720	301,383

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等		昭和2 3 年	予防接種法に基づき、感染症の発生予防、まん延防止を図るために開始。
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。			
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成2 1 年 6 月 平成2 2 年 1 0 月 平成2 2 年 1 1 月 平成2 3 年 1 月 平成2 4 年 9 月 平成2 4 年 1 1 月 平成2 5 年 3 月 平成2 5 年 4 月 平成2 5 年 6 月 平成2 6 年 1 0 月 平成2 7 年 6 月 平成2 8 年 1 0 月	日本脳炎接種再開（平成1 7 年6月以降積極的勧奨差し止め） 子宮頸がん 市単独事業により実施 子宮頸がん 県の補助事業により実施 ヒブ・小児用肺炎球菌 国の補助事業により実施 不活化ポリオ導入 四種混合導入 集団接種（二種混合・麻しん風しん3・4期）終了 全ての予防接種が個別接種となる。 ヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がんが定期接種へ移行 子宮頸がんの積極的勧奨差し止め 水痘、高齢者用肺炎球菌定期接種へ移行 モバイルによる予防接種スケジュール管理サービス開始 B型肝炎導入	風しんワクチン接種率向上 子宮頸がんワクチン接種の理解を深める周知を図ること。 子宮頸がんワクチン積極的勧奨差し止め後の状況について 風しん第5期の接種率を上げるための取り組みについて 子宮頸がんワクチン接種状況、接種後の市民への情報提供、今後の方向性
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	平成2 1 年 4 月 平成2 5 年 1 2 月 平成2 7 年 1 月 令和元年 1 2 月 令和元年 2 月	定例会議会質問 定例会議会質問 定例会議会質問 定例会議会質問 定例会議会質問	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	☒ 結びついている ☐ 見直し余地がある 市民の感染症の発症予防、まん延防止、しいては、市民の健康保持につながるため市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	☒ 妥当である ☐ 見直し余地がある 予防接種法で市町村の業務となっている。また、市民の健康維持は市の役割である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	☒ 適切である ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある 予防接種法に基づき実施しているので、対象・意図は適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地はない ☐ 向上余地がある 対象者全員に予診票配布や葉書にて個別通知しており、ホームページや広報紙にも掲載し周知している。さらに平成27年6月からはモバイルによる予防接種スケジュール支援サービスも実施したので、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☒ 影響がある ☐ 影響がない 予防接種法に基づく事業である。 廃止・休止した場合、個人の発病、まん延が懸念されるため廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	☐ 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） ☒ 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	☐ 他の事業と統合・連携ができる ☐ 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある 予防接種法に基づき医師会と協定価格で委託しているので、削減できない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか （アウトソーシングなど）	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある 必要最小限の人件費であり、削減できない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	☒ 公正・公平である ☐ 見直し余地がある 該当者全員を対象としているので、公正・公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） ☐ 廃止 ☐ 見直し（ ☐ ：目的妥当性 ☐ ：有効性 ☐ ：効率性 ☐ ：公平性） ☐ 統合 ☒ 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足（説明責任不充分） ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える																								
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							
(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							